

「子ども一人ひとりを主役に」をモットーにした年長組の発表！今回は「さくら組」の様子です！ <12/12>



年長さん達も衣装を身につけて保護者の方と一緒に登園しました。お部屋に集合した後、2階の「すくすくのお部屋」で記念写真を撮りました。

プログラム8番は「さくら組」によるオペレッタ「美女と野獣」です。初めの「開会のあいさつ」では、「子ども一人ひとりを主役に」をモットーとしている高ノ台幼稚園らしく、年長組の代表園児があいさつを務めました。はじめの言葉や発表会を行うための「おねがい」などを元気いっぱい伝えることができました。

いよいよオペレッタの始まりです。見どころは「第一幕と第二幕に分かれて演じる」ところ、また、「野獣が膝をついてベル（お姫様）に指輪をはめてあげたり、ベルと野獣がリズムカルにダンスを踊ったりするところ」、さらに「仲間達が野獣とベルをダンスやセリフなどで盛り上げる」ところ」などです。



練習では、子ども達自身が音楽に合わせて自分の思うままに振付を考えました。また、セリフを立ったまま言うのではなく、何かの動作をしながらその役になりきって言うように先生からアドバイスを受けたのですが、それも自分で考えようと努力していました。先生方のアドバイスをしっかりと聞こうとする姿勢は、「待機している時に、次に誰が出るのかをよく見てしっかりとした態度で待つこと」や「友だちのダンスやセリフまで覚えてしまうほど集中して練習に励んでいた」ことなどにも現れていました。さすが年長さんだと思いました。



本番では、「セリフを間違えることなく、また自分の出番になるとすぐに出て大きな動作で踊る」など、一人ひとりが自信を持って演じていました。また、待機している時もきちんと並んでいたため、バラバラにはなくスムーズにステージに出ることができました。担任の美有先生も「30分弱のオペレッタでしたが、最初から最後まで集中して演じることができた。本当によく頑張っていたので、その姿に感動し涙が出そうになった。」と言っていました。



メロディオンの発表では、今回の演奏のため去年の12月から1年かけて準備をしてきました。3曲が披露されたのですが、「練習の時はなかなか全員で合わせることができず、リズムがバラバラになってしまうことが多かったが、本番ではとても上手に演奏することができた。ピアノに合わせてのお辞儀もとても上手だった。」と美有先生が賞賛する出来映えでした。保護者の方からも大きな拍手が送られ、園児たちの誇らしげな顔が印象的でした。

〈保護者の方の感想〉……貴重なご意見、ありがとうございました。

- ・周りの友だちと合わせて、緊張しながらも頑張っている姿に感動しました。終わった後は、お友だちの「こういうところがカッコ良かった！」など、感想が出てきて成長を感じました。例年より忙しい時期となっていたと思いますが、子ども達が楽しめるように準備していただき感謝いたします。
- ・コロナ禍の中、感染者を出すことなくクリスマス発表会を実施していただき、ありがとうございました。感染対策をしながらといった難しい状況での練習にもかかわらず、しっかりと演技、演奏ができていたので感動しました。園のホールで行うクリスマス発表会は、近くで子供の演技を見ることができよかったです。記憶に残るクリスマス発表会になりました。
- ・アットホームな雰囲気緊張しすぎず披露できたのではないかと思います。場所の移動・解散も先生方のおかげでスムーズだったので、待ち時間が少なく良かったです。大変お世話になりました。
- ・今年が初めてのクリスマス発表会で、本人もダンス練習を頑張っていました。当日、衣装に着替えてテンションも上がっていたのか、とても嬉しそうな笑顔ばかりでした。先生方の手作り衣装。運動会の時もでしたが、本当に可愛いものを見て嬉しくなりました。
- ・コロナ禍の中、感染対策もしっかりといただき、安心して見られました。子供の成長を凄く感じて、一生懸命演じる娘の姿には感動しました。